

G-SCAN Z2 Flagship

OBD検査アプリ 登録・操作マニュアル

OBD検査アプリ 登録・操作マニュアル

本アプリは「Google Play ストア」より入手可能なため、以下の手順をご確認ください。

※「Google Play ストア」を利用するためにはGoogleアカウントが必須となります。

※以下の操作にはインターネット環境が必要です。

⚠ 重要（はじめに）

本書は、G-SCAN Z2 FlagshipおよびZVCI2を使用したOBD検査の「接続・準備手順」を説明したものです。「特定DTC照会アプリ」自体の詳しい使用方法、機能、最新の仕様については、

OBD検査ポータルサイト を参照してください。

⚠ 重要

G-SCAN Z2 Flagship (タブレット本体) とZVCI2の通信接続は「Bluetooth通信(無線)」のみに対応しています。有線ケーブルでの通信接続はおこないません。

⚠ 重要

G-SCAN Z2 Flagshipのソフトウェアバージョンが26.07.27.01以降の必要があります。

○ 事前準備（必要なもの）

作業を始める前に、以下のものが手元に揃っているか確認してください。

- G-SCAN Z2 Flagship（タブレット本体）
- ZVCI2（車両通信インターフェース）
- 電子車検証（ICタグ付き）（QRコード・ICタグ読み取り用）
- インターネット接続環境（Wi-Fi環境）
- 工員、検査員のユーザーID、パスワード（事前に利用者システムにて登録）

特定DTC照会アプリインストール方法

1.G-SCAN ホーム画面下の○ボタンを選択し、画面を上にはスワイプする



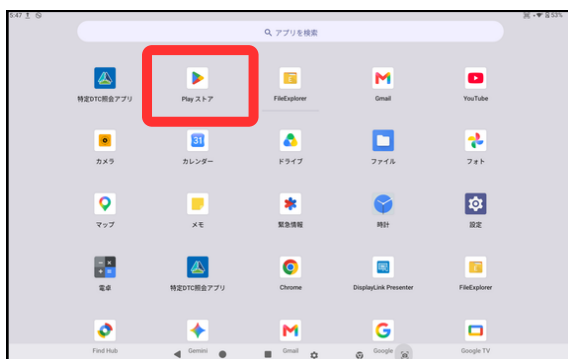
① ホーム画面



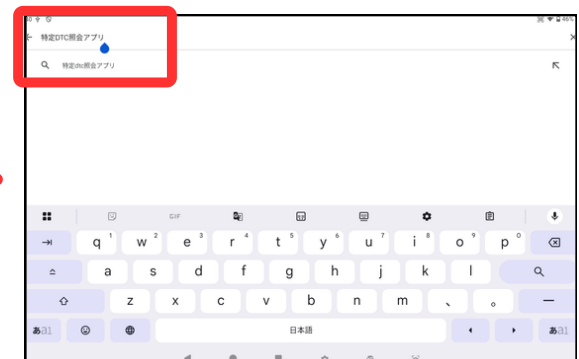
② 画面を上にはスワイプ

2. 「Play ストア」を起動して、「特定DTC照会アプリ」と検索する

※ 「Google Play ストア」を利用するためにはGoogleアカウントが必須となります。



③ Play ストアを起動

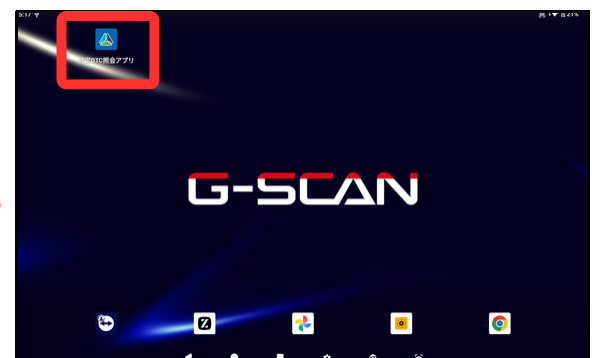


④ 特定DTC照会アプリと検索

3. 「特定DTC照会アプリ」をインストールする



⑤ インストールを選択



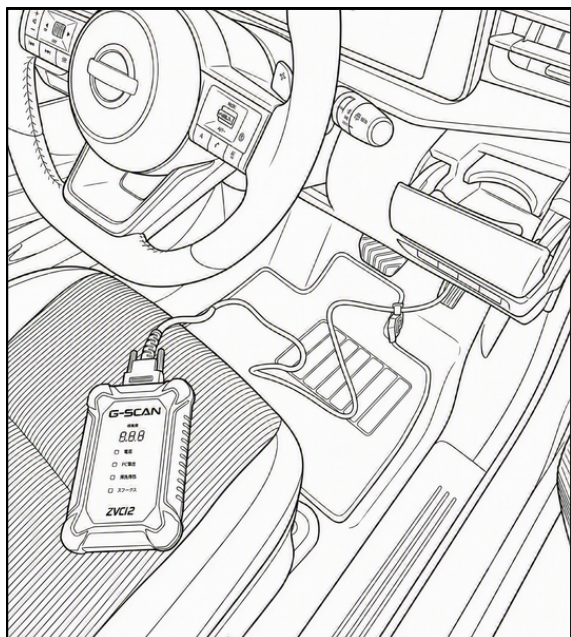
⑥ アプリ追加画面

※表示されない場合は画面を左にスワイプ

OBD検査使用方法

1. 車両接続

車両のデータリンクコネクタ（OBD II コネクタ）にZVCI2を接続する



メモ



OBD II コネクタの位置や向きがわからないときはアプリ内のデータリンクコネクタ位置を参照してください。



ご注意

接続端子は、車両のOBD II コネクタに奥までしっかり挿入してください。



重要 G-SCAN Z2 Flagship (タブレット本体) とZVCI2の通信接続は

「Bluetooth通信(無線)」のみに対応しています。有線ケーブルでの通信接続は
おこないません。

2. J2534モードへの切り替え

○J2534モードへの切り替え手順

1. ホーム画面から [OBD検査] ボタンを選択します。



① ホーム画面からOBD検査を選択

2. 画面に確認のポップアップが表示されますので、[承認] ボタンをタップします。



② 承認ボタンをタップ



③ モード切り替え中

3. 画面が「作動中」の表示に切り替わりましたら、モード変更は完了です。

💡 J2534モードを終了する場合 画面内にある [×] ボタンをタップして終了してください。



④ モード変更完了

⚠ 車両と通信中にJ2534モードを終了すると、車両に重大な問題を引き起こす可能性があります。

特定DTC照会アプリを終了してから
J2534モードを終了してください。

3. OBD検査実施手順（アプリ起動・ログイン～検査完了）

OBD検査の実施手順（アプリ起動・ログイン～検査完了）

J2534モードへの移行と車両接続が完了したら、以下の手順でOBD検査をおこないます。

⚠ 重要

アプリでOBD検査をおこなうための条件

- ・アプリを使っている（起動している）間は、インターネットを常に接続していること。

[STEP 1] アプリ起動とログイン（ログイン・2段階認証の手順）

⚠ 重要

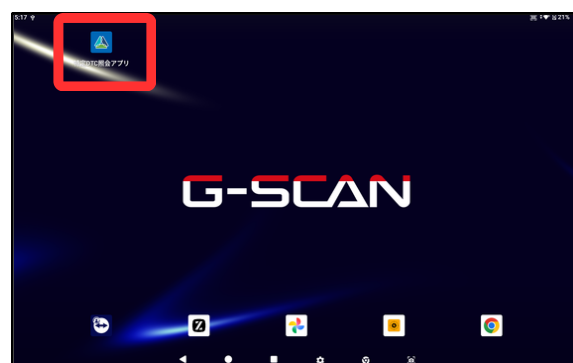
- ・認証コードを受信するには利用者管理システムにおいて利用者の「メールアドレス」を入力する必要があります。
- ・ログイン時、2段階認証が必要です。
- ・認証メールは利用者管理システムで設定されている利用者メールアドレス宛に送付されます。
- ・あらかじめメールを確認できる環境（PCやスマートフォンなど）を準備しておいてください。

1. アプリの起動

ホームボタン（○ボタン）を選択し、タブレットのホーム画面から [OBD検査照会アプリ] のアイコンをタップして起動します。



① ホームボタンを選択



② タブレットホーム画面

2. ログイン情報の入力

「ID」「パスワード」を入力し[ログイン]をタップします。

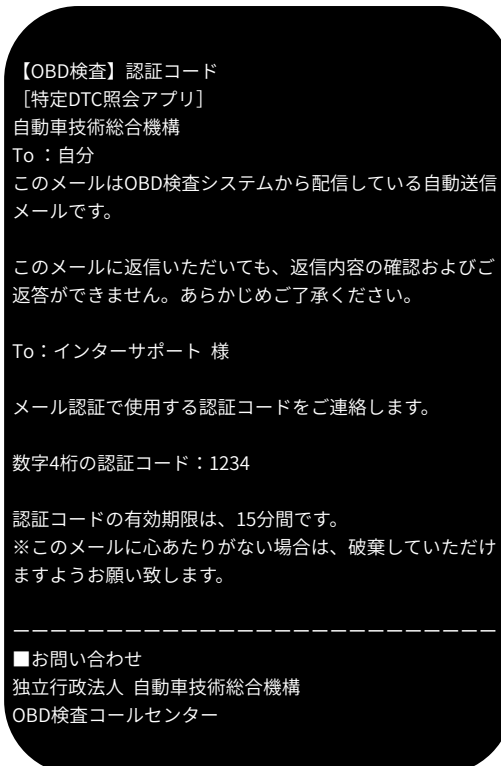
※生体認証ログインには対応しておりません。



③ ログイン画面

3. 2段階認証の実行

ログインボタンを押すと、画面が「認証コード入力画面」に切り替わり、登録メールアドレス宛てに認証メールが自動送信されます。

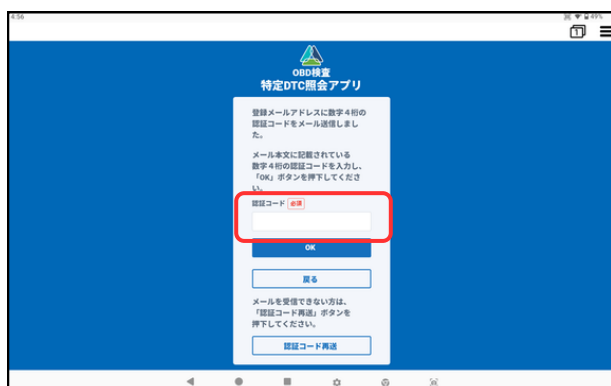


※ 認証メール画面サンプル

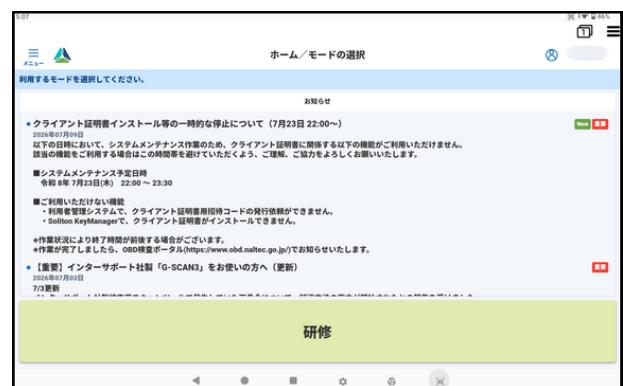
4. メールの確認とコードの入力

届いたメール（件名：【OBD検査】認証コード 特定DTC照会アプリ）を開き、本文に記載されている 4桁の認証コードを確認します。タブレットの画面に、確認した4桁の数字を入力し、[OK]をタップします。

認証が成功するとログインが完了し、アプリのメインメニューが表示されます。



④ 認証コード入力画面



⑤ ログイン後画面

※画像は研修モード用

※パスワード変更が求められた場合の手順につきましてはOBD検査ポータルを参照してください。

[ステップ2] 検査の実施 ※ログイン後

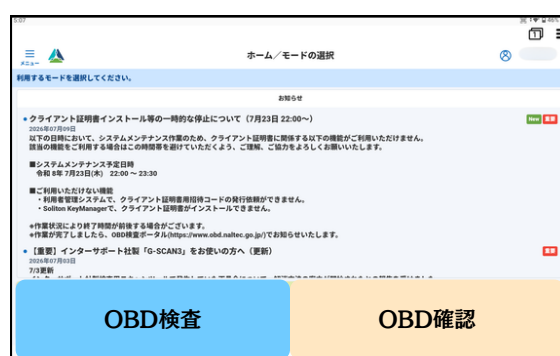
アプリには、OBD検査とOBD確認の2つの検査種別（モード）があります。

利用者・用途に応じて利用するモードを選択してください。

なお、OBD検査モードとOBD確認モードの操作手順に大きな違いはありません。

1. モードを選択する

表示されているいずれかのボタンを選択します。なお、表示されるモードは利用者の区分に応じて異なります。



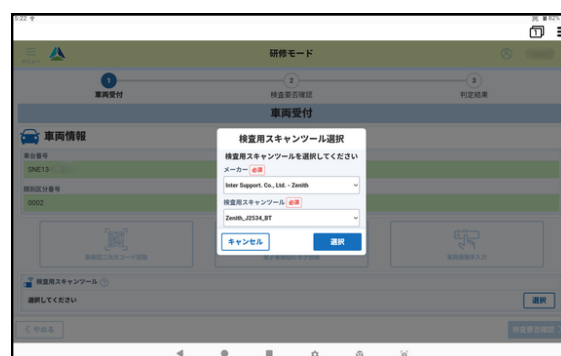
モード選択画面

モード	利用者	用途
OBD検査	指定工場の検査員	法令に準拠してOBD検査を実施する際に利用します。
OBD確認	指定工場、認証工場の工員および検査員	点検・整備時に、OBD検査と同等の確認（OBD確認）をおこなう際に利用します。ただし、条件により実施できる項目または表示内容が異なる場合があります。

2. 検査用スキャンツールを選択する

検査用スキャンツールの選択ボタンを押してください。

※自動的に機器が選択されます。



検査用スキャンツール選択

3. 車両情報の入力

① 車検証二次元コード読取

端末のカメラを使用して、電子車検証または車検証等の二次元コードを読み取る。

モード	用途
自動読取モード ※推奨	電子車検証または車検証等の二次元コードを連続的に読み取る
手動読取モード	電子車検証または車検証等の二次元コードを一つずつ読み取る

※レーザー式QRリーダーは読取できません

② 電子車検証ICタグ読取 **※推奨**

端末のNFC機能を使用して、電子車検証のICタグを読み取る



タブレットの正面

③ 車両情報手入力

読み取り機能を使用せず、車両情報を手入力する

車両情報入力後画面

4.OBD検査可否確認

- 結果確認

検査可否確認の結果は、以下のいずれかが表示されます。

結果	説明
OBD検査が必要です	OBD検査を実施する必要があります。
OBD検査が不要です	OBD検査を実施する必要がなく、検査はできません。
OBD検査不可です	OBD検査に必要な車両情報が存在しない場合に表示されます。 OBD検査コールセンターにお問い合わせしてください。

検査可否確認後画面

5. OBD検査をおこなう

OBD検査を実施する

実行ボタンを押してOBD検査を開始します。

研修モード

（注）規格情報に基づき排出ガス関係装置のOBD確認が実施可能です。エンジンをON（ハイブリッド車等はREADY）にして、「実行」ボタンを押下してください。

1 車両受付 2 検査要否確認 3 判定結果

検査要否確認

車両情報

車台番号	型式
SNE13-	6AA-SNE13
識別区分番号	燃料の種類
0002	ガソリン

検元表 リコール情報

OBD検査が不要です

車名	OBD検査開始日	前回判定結果	前回判定日時
ニッサン		適合	

車両受付に戻る 実行

① 実行を選択

研修モード

車両情報

車台番号 SNE13- 型式 6AA-SNE13

識別区分番号 0002 燃料の種類 ガソリン

検元表 リコール情報

OBD検査開始日 前回判定結果 前回判定日時

ニッサン

検査用スキャンツール接続中

実行中はアプリを終了しないでください。

中止

データリンクコネクタ位置 OBD実施履歴

選択

車両受付に戻る 実行

② 検査中

研修モード

処理を完了します。イグニッションをOFFにして、検査用スキャンツールを取り外してください。

1 車両受付 2 検査要否確認 3 判定結果

判定結果

車両情報

車台番号	型式
SNE13-	6AA-SNE13
識別区分番号	燃料の種類
0002	ガソリン

検元表 リコール情報

O 適合

判定日時 2024/0/

車両から取得した車両識別番号は（SNE13-）です。

戻る 次の車両受付を行う

③ 判定結果表示画面

4. アプリをアップデートしたいとき

アプリのバージョンアップ画面が表示されるのは起動時もしくはログイン時です。
インストールしているアプリは不定期にアップデートがおこなわれるため、画面の表示に従ってアップデートをおこなってください。

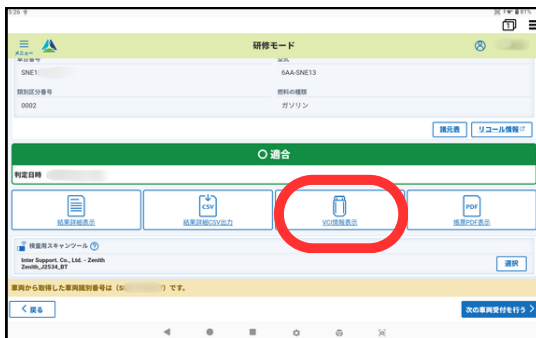


メモ

アプリ起動時だけではなく、PlayストアやAndroidの設定画面からでもアップデートできます。

5. 検査用スキャンツールの情報を確認したいとき

OBD検査で使用した検査用スキャンツールの型式等、詳細な情報を確認することができます。確認したい場合は「VCI 情報表示」を押してください。



① VCI情報表示を押す



② 検査用スキャンツールの情報が表示されます

※OBD検査後に押すことができます。

6.Q&A

No.	症状	対処方法
Q1	ZVCI2の電源が入りません	コネクタの接続状態： ZVCI2のDLCメインケーブルが、車両側のOBD II コネクタの奥までしっかり差し込まれているか確認してください。
Q2	ZVCI2とタブレットが接続（通信）できません	J2534モードの設定： G-SCANの診断アプリで [J2534] モード（作動中）への切り替えが完了しているか確認してください。ZVCI2本体の「STATUS（ステータス）」ランプが緑色と黄色に交互に点滅していれば、J2534モードの状態です。
Q3	特定DTC照会アプリにログインできません	入力間違い： ユーザーIDやパスワードの入力ミス（大文字・小文字の相違、不要なスペースの混入など）がないか、もう一度入力内容を確認してください。 2段階認証コードの期限切れ： 送信された認証コードの有効期限は「15分間」です。期限が切れた場合は、一度ログイン画面に戻ってから最初から操作をやり直し、新しいコードを発行してください。
Q4	インターネットに接続できないというエラーが出ます	- Wi-Fiの接続状態： タブレットの画面上でWi-Fiアイコン（扇マーク）が正しく点灯しているか確認してください。 - 工場の回線状態： 他のスマートフォンやPCが工場のWi-Fiでインターネットに繋がるか確認してください。ルーターの再起動で復旧する場合があります。
Q5	「OBD検査」のボタンを押しても J2534モードへの切り替えができません	タブレット本体の診断ソフトウェアが最新バージョンにアップデートされているか確認してください。古いバージョンのままではアイコンが表示されない場合があります。
Q6	特定DTC照会アプリがインストールできません	- Wi-Fiの接続状態： タブレットの画面上でWi-Fiアイコン（扇マーク）が正しく点灯しているか確認してください。 - セキュリティ許可： 端末設定で「不明なアプリのインストールを許可」が有効になっているか確認してください。

「特定DTC照会アプリ」自体の詳しい使用方法、機能、エラーメッセージ、最新の仕様については、
OBD検査ポータルサイト を参照してください。

アプリについてのお問い合わせ先は以下になります。

問い合わせ先名称：**OBD検査コールセンター**

電話番号：0570-022-574

対応時間：9時 00分～ 17時 00分（12月 29日から 1月 3日を除く）

G-SCAN Z2 FlagshipおよびZVCI2の不明点やエラーメッセージについてのお問い合わせは、製品シリアルナンバーを
ご確認の上、製品保守センターまでご連絡ください

株式会社インターサポート

製品保守センター

Tel 050-3802-4235

受付時間 月～金 10:00～17:00（祝日を除く）

<https://g-scan.jp/after-support/maintenance>